

令和元年度 学校評価アンケート 結果

	保護者アンケート							職員	保護者-職員
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校		
1 特性を生かした学校づくり	3.89	3.71	3.78	3.89	3.67	3.83	3.79	3.58	0.21
2 他との交流、人間関係作り	3.67	3.29	3.33	3.44	3.50	3.58	3.47	3.67	-0.20
3 地域等の連携、安全、開かれた学校	3.89	3.29	3.67	3.78	3.67	3.58	3.64	3.50	0.14
4 少人数指導、個に応じた指導	3.78	3.86	4.00	3.56	3.50	3.50	3.70	3.64	0.06
5 基礎、基本の確実な定着	3.83	3.57	4.00	3.75	3.50	3.67	3.72	3.73	-0.01
6 学ぶ意欲の高揚	3.89	3.57	3.78	3.44	3.33	3.50	3.59	3.64	-0.05
7 話す、聞く、読む活動、読書活動の充実	3.63	3.50	3.44	3.33	3.50	3.36	3.46	3.45	0.01
8 道徳の授業の充実、自他の大切さ	3.89	4.00	3.57	3.56	3.33	3.75	3.68	3.91	-0.23
9 集団の一員としての自覚、自主的な態度の育成	3.89	4.00	3.67	3.56	3.33	3.83	3.71	3.75	-0.04
10 不安や悩みの解消、いじめの根絶	3.78	3.86	3.67	3.44	3.50	3.67	3.65	3.58	0.07
11 体育の時間の充実、休み時間も外遊び	3.78	4.00	3.75	3.56	3.67	3.67	3.74	3.55	0.19
12 健康で安全な生活、生活習慣、危険を回避する	3.78	3.57	3.67	3.56	3.67	3.58	3.64	3.75	-0.11
13 望ましい食習慣	4.00	3.71	3.67	3.78	3.67	3.75	3.76	3.82	-0.06
14 学校と保護者地域との相互理解	3.89	3.57	3.67	3.56	3.50	3.67	3.64	3.91	-0.27
15 学校は楽しみ	3.89	3.86	3.89	3.89	3.50	3.50	3.75	3.73	0.03
16 ルールやマナーが身に付いている	3.56	3.43	3.44	3.56	3.67	3.67	3.55	3.00	0.55
17 働き方改革の実行に努めている	3.67	3.40	3.25	3.22	3.50	3.45	3.42	3.09	0.32

<保護者アンケート ご意見欄の自由記述より>

○先生方にはいつもよく見ていただいていると思う。

○保健室にすることが多いですが、先生方や友達の丁寧な関わりにより登校しぶりが少なくなった。ありがとうございます。

△⑩「働き方改革の実行」の意味がよく分からなかった。

→成績の二期制・家庭訪問の希望制・行事の精選等です。本校では複式学級が発生しており、これは喫緊の課題です。引き続き、保護者や地域の皆様に丁寧に説明しながら、推進してまいります。

△「働き方改革」をよく耳にするが、実際のところ1部の先生の負担が更に大きくなったような気がする。

→子供の数の減少により職員も減少しました。分担が増えるのは致し方ないところです。行事の精選等を行い、一人ひとりの職員の負担を減らします。

△児童数が少なく教職員の数も少ないせいか、先生も余裕がなさそうである。1人の児童に対して時間がかかり他の児童が待っていることが多く授業の進み具合が遅くなっている。

→担任だけでなく全職員で協力し、児童の実態に合わせながら、学習内容が遅れないように計画をきちんと立て授業を進めて参ります。

△少人数だからこそその人間関係の難しさがあると思う。子ども自身も感じている中でそれを表に出さない努力はしていると思う。

→生活アンケート、教育相談、普段の様子を見ながら、仲良く過ごせるよう支援していきます。

△6年生はやることが多く休み時間もゆっくり取れないようである。

→行事が重なると最高学年の児童への負担が大きかったと思います。行事の時期・内容等を見直して参ります。

△⑧(道徳)と⑩(体育)は、頻繁に授業を見ていないので分かりません。(ホームページを見てわからない)

→子供の様子を見に、是非、学校に気軽にお越しください。いつでも公開しています。

△個人面談の日やマラソン納会の時間の連絡が遅く、学校に行くため仕事を休むのに困った。

→今回、マラソン納会の時間の連絡が遅くなり申し訳ありませんでした。今後分かり次第連絡をしていくようにいたします。

△子供について相談した内容が新年度になると最初から説明し相談することがある。新年度に引き継げると助かる。

→相談した内容をきちんと記録に残し、次の担任に引き継ぐようにして参ります。

△子どもが身をもって経験する前の禁止事項が多すぎる気がする。(危険、やってはいけない、身につけてはいけない)

→児童の安全第一を考え、必要な部分は推進し、改善できる点は改善していきます。

△今回南部地区インディアカ大会の幹事校だった。もう少し先生方の協力があるといいなと思った。

→職員に呼びかけ、できることは協力するようにしていきます。

◎登下校の安全について、学校・保護者・地域が協力して行政を動かす努力が更に必要だと思う。また、家庭でできることから取り組むようにしていかなければと思う。

→協力した申請により、令和3年か4年に道路改修が行われ、そこで路側帯の白線を引く計画が立てられるそうです。

令和元年度 学校関係者評価用紙

佐倉市立弥富小学校

評価 4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

項目	保護者		差	
	H30	R1		
学校運営	①教職員は、運動会などの学校行事や授業で、子どもの実態や弥富地区の特性を生かした学校づくりや特別支援教育を進めるように努めている。	3.81	3.79	-0.02
	②教職員は、校内や校外の人たちに対して、自分から進んで交流しようと働きかけ、人間関係を広めるように努めている。	3.61	3.47	-0.14
	③教職員は、保護者、学校評議員、地域の方々等と連携・協力して、安全で開かれた学校づくりに努めている。	3.67	3.64	-0.03
	④教職員は、学校のホームページ、学校便り、学級だより、保護者会、授業参観、個別面談、教育相談等を通して、相互理解を深めるように努めている。	3.87	3.64	-0.23
	【学校の改善策】 ①地域の皆様のご支援をいただき、弥富地区の特性を生かした行事や授業を充実させることができました。また、特別支援教育の理念を生かし、一人一人を大切に教育を推進し、保護者の皆様からも高い評価を得ています。 ②地域の皆様に学習の場へご参加いただいたり、地域の施設等へ見学に行かせていただいたりして、地域の皆様とよりよい関係を築けるように努力しています。地域行事へ、もっと多くの職員が参加したい所ですが、家庭の事情等や働き方改革の点から休日の参加は難しいです。 ③地域の皆様や保護者の皆様のご協力やご支援を受け、安全で開かれた学校づくりを進めています。 ④ホームページやメール配信、おたよりなどの文書で学校の情報を発信しています。地域の皆様や保護者の皆様、外部の方もよくご覧いただき好評です。今後もこまめに新しい情報を発信していきます。			
学習指導	【学校関係者評価委員からの意見】 ・少人数の学校であることを利点として、一人一人の児童に対する心遣い、目配りをしていると感じる。 ・歴史のある学校であることと、地域密着が伝統的な部分もあり、今の世代の保護者との意見の違いもあって大変だと思う。 ・小学校の存在が地域のコミュニティの大切な場所になっていることは確かである。グラウンドゴルフなどで世代間の交流ができる場所であることで、十分だと思う。 ・学区外児童の増加により、特認校運営が難しくなってきたようである。教育委員会等に相談し、解決に向かってほしい。 ・地域・家庭との連携には努力されていると思うが、さらに相互理解に努めていただければと思う。 ・学校の教育方針を引き続き保護者に理解していただけるよう努めては如何か。			
	④教職員は、少人数の実態を生かし、一人一人に応じたきめ細かな指導を進めるように努めている。	3.58	3.70	0.12
	⑤教職員は、児童が基礎的・基本的な学習の内容を確実に身に付けられるように努めている。	3.69	3.72	0.03
	⑥教職員は、児童の学ぶ意欲を高めていくように努めている。	3.73	3.59	-0.14
	⑦教職員は、話す、聞く、書く、読む活動や読書活動の充実に努めている。	3.48	3.46	-0.02
【学校の改善策】 ④小規模特認校として最も力を入れている所です。算数科においてTT授業を行ったり、個別授業を行ったりしています。今年度は個別指導として、児童の実態に合わせた指導を教室から取り出し、やってみールームで行いました。静かな場所で集中して学習できるため、学習の定着率が上がっています。今後も一人ひとりに応じた学習指導をしていきます。 ⑤担任は教材研究をして、児童が興味関心が持てる授業を工夫しています。基礎基本の学習内容定着のために、家庭学習強化週間も年3回実施し、家庭学習が習慣化してきました。 ⑥児童が主体的に活動できる授業を工夫して行い、児童自身がわかった・できた喜びを持てることで、学ぶ意欲が高まるように今後も努力していきます。 ⑦図書館司書や図書担当を中心に、様々な読書活動を行い、読書が好きな児童が増えています。「書く」ことを苦手とする児童もいるので、その児童にあった個別指導をしていきます。				
【学校関係者評価委員からの意見】 ・学習参観で、1年生の授業を見せていただいた。子どもたちが生き生き・わくわくした顔で先生を見て、とても楽しい授業だと感じた。おとなしい子のちょっとしたつぶやきや仕草に気をつけて温かく見てくれていて、見る側も自然に笑顔になった。 ・どの学年も、先生方の元気が子どもたちにも伝わっている。 ・読むこと＝書くことに通じるので、重視してこれまで通りやってほしい。 ・複式学級になり大変とは思いますが、学力低下の話もなく、努力されていると思う。 ・児童一人一人に応じた指導に努めているのが何える。				

心の教育	⑧教職員は、道徳の授業が充実し、自分や友達の大切さを認める教育に努めている。	3.64	3.68	0.04
	⑨教職員は、様々な教育活動を通して、児童が集団の一員としての自覚や自主的な態度が育つように努めている。	3.81	3.71	-0.10
	⑩教職員は、子どもの理解や、不安や悩みの解消といじめの根絶に努めている。	3.62	3.65	0.03
	⑮お子さんは、学校に行くのを楽しみにしている。	3.79	3.75	-0.04
	⑯お子さんは、集団生活のルールやマナーが身に付いている。	3.47	3.55	0.08
	<p>【学校の改善策】</p> <p>⑧今年度は研究主題を「主体的に考え、ともによりよく生きようとする道徳教育」とし、道徳科を研究しています。道徳の授業は各学年1回公開したり、学級だより等で学習の内容を紹介したりしています。</p> <p>⑨毎日の児童との関わりや観察、教育相談、学校生活アンケートで児童理解に努めています。</p> <p>⑩いじめアンケートや学校生活アンケート、教育相談等を実施し、不安や悩みを早期に発見し、解消できるように努力しています。今後も児童観察に努め、児童理解を深めていきます。</p> <p>⑮学校に行くのを楽しみにしている児童が多く、とてもうれしく思います。今後も魅力ある学校づくりをしていきます。</p> <p>⑯昨年度は評価項目のうち一番低い評価でしたが、今年度はルールやマナーをよく守るようになってきました。少人数のため、集団生活の中での行動という点ではまだ不十分な所がありますので、継続指導をしていきます。</p> <p>【学校関係者評価委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもは、自分を見てもらいたい、認めてもらいたい、話を聞いてもらいたいと誰もが思っていると思うので、多少、自己中心的であっても、自己主張が強くても、話を聞いてあげることが大切だと思う。一人でも自分の話を聞いてくれる人がいることは安心して生活ができると思う。 ・弥富小の子どもたちは、純粋な心を持っている子どもたちで、学校の中も温かい雰囲気である。 ・道徳の授業が充実したものに努めていただけたら子どもの不安、いじめ等が根絶されていくのではないかと。 			
健康 体力 ・ 安全	⑪教職員は、体育の時間を充実させ、児童が休み時間も外遊びをするように努めている。	3.68	3.74	0.06
	⑫教職員は、児童が健康で安全な生活ができるように、また基本的な生活習慣や危険を回避する力を身に付けるように努めている。	3.73	3.64	-0.09
	⑬教職員は給食指導等を通して、望ましい食習慣を身に付けるように努めている。	3.95	3.76	-0.19
	<p>【学校の改善策】</p> <p>⑪体育の授業を充実させ、自分から進んで休み時間に鉄棒やマラソン、縄跳び、ボール遊びなどで体力づくりができるように指導を継続していきます。</p> <p>⑫望ましい生活習慣について、「ほけんだより」で発信し、家庭と連携して、児童に指導しています。また、児童に危険予知能力をつけられるよう、定期的な避難訓練やワンポイント避難訓練を通して日常生活のあり方や避難の仕方を指導していきます。</p> <p>⑬地域の食材を生かした献立や行事等に合わせた献立を工夫したり、給食時に栄養士が各学級を周り、当日の献立にまつわる話をしたりして、食育を推進しています。</p> <p>【学校関係者評価委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食は残る物がほとんどないと聞いた。体力作りが自然にできていると思う。 ・陸上の朝練など少ない人数の先生方で、大変なことと思う。先生方の姿勢が子どもたちの真剣さにつながっている。 ・児童に危険予知能力をつけさせる教育は大変良いことではないか。今後の更なる取り組みを期待する。 			
その他	⑰教職員は、子どもと向き合う時間を確保するために、働き方改革の実行に努めている。		3.64	
	<p>【学校の改善策】</p> <p>⑰今年度新たに設けた項目です。引き続き、保護者や地域の方に働き方改革について丁寧に説明しながら、教職員自ら働き方改革について努め、教職員が子どもたちと向き合う時間を多くして、子どもたちが生き生きと生活できるようにしていきます。</p> <p>【学校関係者評価委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校は、担任制の学級経営が一番大切である。学級の子どもたちとふれ合う時間は大いに作っていくべきだと思う。小学校の出来事や思い出は、いつまでも心に残っていくと思う。 ・児童にマイナスにならないように配慮しながら、対応していただければと思う。 ・働き方改革も先生に必要なことである。子どもとの向き合う時間を確保することを務めてほしい。 <p>【その他で、ご意見・感想等があれば、具体的にお書きください。また、子どもの学校生活をよりよくするためのご意見がありましたら、併せて記入をお願いします。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校児童の歌声が素晴らしいと思う。どうぞ続けてほしいと願っている。 			

令和元年度教職員の自己評価のまとめ

<p>学習指導</p>	<p>○授業における規律は、ほぼ定着してきている。</p> <p>○授業時の返事の仕方・良い姿勢・人の話の聞き方などがよくできている。</p> <p>○家庭学習強化週間を設けているので、家庭での自学がかなり定着している。宿題以外にも自分で学習内容を決めて学習できるようになっている。</p> <p>○司書の先生と連携し、全学年読み聞かせをしていただいたおかげで、子どもたちが読書に興味を持ち、多くの本を読むようになってきている。</p> <p>○友達の意見をよく聞き、それをもとに自分なりによりよい考えを導き出そうとする児童が増えてきている。</p> <p>○少人数指導担当と連携し、個別の課題を指導することにより、基礎・基本が身に付いてきた。</p> <p>○道徳科は教科書の学習や実際の体験学習を取り入れることにより、実践的な学びをすることができた。</p> <p>○朝の読書タイム、ドリルタイムを有効に使うことができた。</p> <p>○国語科や社会科等で書く力をつけるためにノート指導を充実させた。社会科のノートなどは自分でまとめる力がついた。</p> <p>△学力差があり、授業の進め方に工夫が必要である。補助教員に個別指導をしてもらうなど対策を取るようにしていく。</p> <p>△発表が不得意な児童は、積極的に挙手しないが、ノートなどに自分の考えを書くことで発表できるようになる。そこで、発表したらみんなで認めて自尊感情を高めていくようにしていく。</p>
<p>生活指導</p>	<p>○1日の流れを掲示しておくことで、見通しをもって行動できるようになった。</p> <p>○時間を守ること、黙って清掃することが、意識してできるようになってきた。</p> <p>○明るい挨拶・元気な返事がよくできている。靴箱の靴のかかともそろっている。</p> <p>○係や当番活動など、自主的に行うことができた。</p> <p>△人の話を最後まで聞けない児童がいるので、話の聞き方を継続指導していく。</p> <p>△忘れ物をする児童が多かった。児童自身に忘れてしまった理由を考えさせたり、忘れ物をしないような対策を自分で考えるよう指導した。</p> <p>△心ない言動で友達の心を傷つけてしまうことが何度かあったが、その都度、児童がわかるように指導した。</p> <p>△安全面で注意しても分からない児童がいたの、その行動の何が危険なのか丁寧に指導している。</p>
<p>その他</p>	<p>○高学年においては、行事等で活躍の場を設けたので、自覚が芽生えてきた。</p> <p>○毎月のいじめ調査を活用し、毎月児童一人ひとりと面接を行い、児童理解に努めることができた。</p> <p>○夏休みの家庭訪問で伝えた個別の課題を家庭でもよくみていただき、9月からの学習がスムーズにスタートできた。</p>